

杉戸町立西小学校 令和5年度 学校評価(学校自己評価・学校関係者評価)

評価項目	目標	具体的取組	指標 (指標ごとの評価)	自己評価		改善策	学校関係者評価		
				評価	達成状況(成果・課題)		評価	意見・要望・支援策等	
確かな学力	知識・技能の確実な定着と思考力・判断力・表現力の育成	・杉戸町学力向上プロジェクト(共通実践5つの柱、授業スタンダード)に基づき日々の授業を充実させる。 ・語彙力を基盤とした読解力(書く力)を育成する。 ・「ゴールから考える授業づくり」(単元の授業構想、「先生が教える」から「子供が学ぶ」への授業へ)を実践する。 ・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現する授業を展開する。 ・校内研修非認知能力育成研修を実施し、各学年の実態に応じた具体的な育成方法を検討・実践する。 ・自己選択、自己決定をして進める家庭学習を推進する。	・「埼玉県学力・学習状況調査」「全国学力・学習状況調査」「リーディングスキルテスト」「総合学力調査」によるRPDCAサイクルの確立(年2回) ・授業公開シートを活用した教員の相互授業参観(全職員2回ずつ) ・総合学力調査 全国平均超 ・リーディングスキルテストで「推論」「係り受け解析」「照応解決」の項目で偏差値50超 ・家庭学習強化週間における目標時間達成率90%以上	A	A	・学力調査結果を学年、学級ごとに分析し、校内研修で検証した。検証結果をもとに授業改善と学力向上へのRPDCAサイクルを確立した。 ・職員一人一人が2回の公開・研究授業を実施し、研修課題に基づいた授業改善を行うことで、授業力向上と児童の学力向上につなげた。 ・総合学力調査国語では1.3、6学年が、算数では1.6学年が全国平均を上回った。 ・リーディングスキルテストでは、全ての項目で偏差値50超を達成した。	・個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を実現する授業づくりについての研究と実践をさらに積み重ねていく。 ・校内研修や公開授業で提案性の高い授業を展開し互いに見合うことで、教師自身の授業力向上とともに、ベテランから若手まですべての教師が切磋琢磨できる環境をつくる。 ・学校課題研修研究部の組織を中心に、学習の基礎基本を児童が楽しく主体的に身に付けるための研究を行う。	A	・子供たちはのびのびしている。積極的に手を挙げたり、運動したりしている。 ・教室の中の子供たちの様子が楽しそうであった。 ・周りの友達と意見交換しながら、授業を進めていた。 ・学年によって、タブレット端末等のICT教材をうまく使っている。 ・1年生からタブレット端末を使いこなしている。 ・基礎基本の学力は、やはり、授業時間しっかりと定着させてほしい。
		全教育活動を通して道徳教育を行うとともに、人権を尊重した教育を推進し、心豊かな児童を育成する。	・全教職員でいじめの早期発見と迅速かつ適切な対応、見守りをする。 ・各教科の特質に応じた社会体験活動、自然体験活動を充実させる。 ・読書活動を推進する。	・いじめ解消率100% ・学校評価児童アンケート「そう思う」「だいたいそう思う」85%以上達成 ・本の紹介年3回以上 ・読書月間目標達成者80%以上	B	・生徒指導委員会を中心に連携を密に対応した結果、継続観察中のケースを除き、いじめ解消率100%である。(2月末現在)今後も組織的な生徒指導を徹底し、丁寧な見届けを継続する。 ・学校評価児童アンケートでは「自分には良いところがある」「学校生活を楽しんでいる」「先生は悩みや相談の話をよく聞いてくれる」「西小が好きだ」の項目で80%以上を達成した。 ・読書月間目標達成率は60%であった。 ・「ナンバーワン賞」90%以上 ・友達アンケート毎月実施 ・縦割り活動の実施(年4回) ・道徳授業研究会の実施(年1回) ・人権集会の実施(年1回)	B	・ドレミファコンサートや校外学習、学年に応じた体験的な活動を実施した。教育課程の中に児童の学びを深めるための体験活動を組み込みながら、次年度以降も引き続き実施する。 ・安心して学べる学級、わくわくする授業を構築することにより、学校に来て良かったと児童自身が日々感じられる学校づくりを推進する。 ・読書に親しむ児童を育成するため、読書を推進するための声掛けや取組を工夫していく。	B
豊かな心	教職員と児童及び児童相互の好ましい人間関係を育てる。	・一人一人のよさが輝き、学び合いのできる学校・学級をつくる。 ・縦割り活動等異年齢集団の充実による社会性の育成を図る。 ・道徳教育の充実による心の育成及び人権尊重の精神の涵養を図る。	・「ナンバーワン賞」90%以上 ・友達アンケート毎月実施 ・縦割り活動の実施(年4回) ・道徳授業研究会の実施(年1回) ・人権集会の実施(年1回)	A					
		家庭と連携した健康で安全な生活習慣を確立する。	・健やかな体づくりのための健康教育を実施する。 ・家庭や関係機関と連携し、計画的な保健行事を実施する。	・町内栄養教諭による各学年での授業実施(各1回) ・生活アンケート90%以上達成 ・むし歯治療率100% ・学校保健委員会の実施(年2回)	B	・杉戸町保健センター講師による「アルコールと健康」についての学習会を実施した。 ・生活アンケート「すすんで体力をつけている」は、83%であった。 ・むし歯治療率100%(永久歯)を達成した。 ・学校保健委員会を年2回実施した。 ・新体力テストでは、A+Bの割合は46%であった。 ・長縄記録会を実施し、体力を向上させ、すすんで運動する児童の育成を行った。 ・体育主任による授業公開及び実技研修会を行い、体育の授業づくりについての研修を深めた。	・全学年で共通した準備運動を取り入れ、児童に目的意識をもたせ、健康な体作りを推進するためにも、今年度の取組を継続して行っていく。 ・次年度もすこやかタイムの効果的な実施と、長縄記録会の充実を行い、さらなる体力向上とすすんで運動できる児童の育成を目指す。	B	・マスクをはずしている児童や先生方が増えた。表情がわかり、生き生きしている姿が見えた。 ・教室では、感染対策のため、換気をして授業を行ってほしい。 ・体育の授業において、できていない児童への支援をさらに手厚くお願いしたい。取り残されない工夫ができるとよい。
健やかな体	児童の運動量の確保と体力向上を推進する。	・体育部が中心となって新体力テストの結果から課題を明確にし、全校で課題解決への取組を行う。 ・体育の授業での運動量(活動時間)を十分に確保する。	・新体力テスト A+Bの合計90%以上 ・授業1単位時間における活動時間30分以上の確保	B					
		信頼関係を構築することで、家庭・学校・地域において子供も大人も自身が「当事者」とあるという意識を共有し、連携を強化する。	・児童の学びや体験を充実させ、外部指導者等を積極的に活用する。 ・学校ホームページを活用した学校活動の積極的な情報発信を行う。	・学校応援団、おやじの会等と連携した学習環境の充実 ・学校ホームページの随時更新	B	・児童の学びを深めるための体験活動を学年に応じ行い、外部指導者にもご指導いただく機会をつくることができた。 ・学校応援団、おやじの会のご協力をいただき、草刈り、花壇・樹木整備等、学習環境を整えることができた。 ・学校ホームページを随時更新した。 ・一人一人が自分の退勤時刻を意識し、計画的な業務を行った。年間超過勤務時間の全体平均は360時間以内になる見込み。	・学校ホームページにおいて学校の様子随時更新することで、児童の学習の様子、学校の雰囲気をお伝えしている。 ・PTA会長、役員との連携も円滑に行え、地域・保護者との関係も良好である。 ・次年度は、授業時数や日課表の改善を行い、より一層教職員が授業づくりに専念できるように環境を整えていく。	B	・教員の働き甲斐があることは、子供たちの教育に直結するので、これからも大切にしていきたい。 ・児童を多くの目で見ていくために、教員の増員も必要だと考える。
学校独自	「働き方改革」業務改善の取組のさらなる推進を行う。	・業務の在り方について絶えず見直しを行い教職員にとって働きやすい職場づくりを推進するとともに、児童にとってよりよい学校を目指す。	・全教職員時間外在校時間45時間以内、年360時間以内	B					